

## 2016年度 第3回講習会「肝臓代謝疾患と建築にかかわること」

講習会名称 : 2016年度 リフォームドクター第3回講習会  
講習会日時 : 平成28年11月20日(日) 午前10:00~午後1:00  
講習会場 : 佐賀大学医学部 看護学科棟 1階講義室

- 第1時限目講義 講義内容：障害者の自立は生き甲斐を得るきっかけとなる  
講 師：佐賀大学大学院医学系研究科 福祉健康科学部門  
松尾 清美 先生

いろいろな身体に障害を持っている方たちの自立していくまでの事例紹介と自立することによって、障害者が手にする生き甲斐とは、どの様なものか画像と映像をとおして講義して頂きました。  
動けるようになることで、生活圏が広がると共に生きる活力がみみなぎっていく姿がよく分かりました。  
さらに、動く・移動する方法としての機器紹介や実物を使ってのデモンストレーションを行って頂きました。  
講義を受けた感想としては、四肢に障害を持つ人が、自立して動けるようになることで、社会的な活躍の場が広がっていくのだと思うと共に、建物作り担い手として、より一層バリアフリー社会の実現に尽力していかなければと思いました。



—第1時限目の講義の様子—

- 第2時限目講義 講義内容：肝臓代謝疾患と建築にかかわること  
講 師：佐賀大学大学院医学部  
高橋宏和 先生

高橋先生には、肝臓という臓器がどのような働きをしているか。又、肝ガンの原因にはどのようなものがあるかを丁寧に講義していただきました。  
C型肝炎が起因となり肝臓ガンを発症して行くプロセスについて解説して頂きました。  
なぜ、佐賀県が肝臓ガンによる死亡者が多いのか、C型肝炎に対する県民の意識の低さが増加している原因である事。これを改善していくための取り組み、さらには、C型肝炎の最新の飲み薬による治療方法を紹介され、C型肝炎が容易に治るようになってきたことを知りました。  
最近では、C型肝炎が原因ではなく脂肪肝が起因となり、肝硬変が基で死に至っているケースが増えていくとの事でした。  
建物づくりをする上での肝疾患とのかかわりや対処方法をこれからの課題として考えていかなければと思いました。



—第2時限目の講義の様子—